


政策5 文化の振興・文化財保護


施策1 文化芸術の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
文化啓発事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	文化・スポーツ振興室
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	2,786,295	
一般	10	4	8		
合唱フェア					
					
目的					
市及び乙訓地域の文化活動の振興・発展とともに、市民の文化芸術意識の高揚を図ります。					
内容					
自主運営による文化芸術団体の発表の場である乙訓文化芸術祭に対し、乙訓2市1町が協力して事業の支援を行うとともに、文化芸術活動の一層の充実に向けた支援を行います。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
乙訓文化芸術祭の観客数を維持または増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
3,138人 (平成21年度)	目標	3,000人以上を維持	3,000人以上を維持	3,000人以上を維持	3,000人以上を維持	3,000人以上を維持
	実績	2,884人	2,542人	2,325人	2,483人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月25日に文化・スポーツ賞表彰式を開催しました。乙訓文化芸術祭は、平成27年2月8日に「合唱フェア」を、平成27年3月15日に「バレエの祭典」を、長岡京記念文化会館にて実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できなかった(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 「合唱フェア」は、各団体の高齢化により従来からの参加団体が解散し、参加人数が若干減少しました。 「バレエの祭典」は、平成26年度はオーケストラの演奏をせず、オケピットの設置がなくなったため、観客数が増えました。その結果、目標をほぼ達成することができました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 「合唱フェア」は、高齢化等による出演団体数の減少が課題となっています。また一方で出演団体が大幅に増えると、当日の開演時間・上演時間等に影響し、さらに経費がかかる可能性があります。当日の開演時間の変更や終演時間の延長などを踏まえ、出演団体のニーズを把握し、対応を検討していきます。 「バレエの祭典」は、実行委員会が自主的に事業に取り組んでいますが、団体負担が大きく、事業実施が厳しい状況になっています。団体負担額の在り方等について、出演団体のニーズを把握し、検討を重ねていきます。 						

政策5 文化の振興・文化財保護

施策1 文化芸術の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
自主活動団体育成・支援事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	文化・スポーツ振興室
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	2,993,000	
一般	10	4	8		
長岡京展の様子					
					
目的					
自発的に文化活動を行う団体の活動を促進します。					
内容					
各種文化芸術団体の事業展開に対し、補助を行います。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
自主的に活動する文化芸術団体に対する支援事業数を維持または増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
8事業 (平成22年度)	目標	10事業	11事業	11事業	11事業	12事業
	実績	10事業	10事業	9事業	10事業	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化まつり、名月の宴、長岡京展の3つの事業を自主事業として運営している長岡京市文化協会に対し、補助支援を行いました。 ・文化芸術の振興のため、広く市民の模範となる高度な文化芸術活動に対して、会場使用料の概ね2分の1の補助を行いました。平成26年度は7事業でした。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> ・文化奨励事業補助制度については、市広報やホームページ等で広く補助制度についてPRを行い、申請団体数の増加に努めました。 ※内訳：長岡京市文化協会自主事業3事業、文化奨励事業7事業の合計10事業に対して補助を実施。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業は、公演と展示に大別され、それぞれの補助内容について、検討を行います。 ・利用施設での広報の充実が必要です。 ・平成23年度より、実施事業の対象経費を「会場使用料」に見直すことにより、予算の範囲内でより多くの団体に、公平に補助ができるようにしました。 ・長岡京記念文化会館大ホールの利用稼働率(土日祝)は、ほぼ100%に近く、記念文化会館を利用している団体に対して、文化奨励事業補助金制度の周知を図ることにより、申請団体の増加が見込まれます。また、バンビオや産業文化会館など、PRする利用施設を増加します。 ・長岡京市文化協会の自主事業に対する補助については、協会の自主性を尊重し、自主財源での事業実施を含め、補助制度のあり方を検討していく必要があります。 						

政策5 文化の振興・文化財保護


施策1 文化芸術の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
文化会館運営支援事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	文化・スポーツ振興室
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	69,000,000	
一般	10	4	8		
第九コンサート					
					
目的					
文化事業団の安定した運営を維持しつつ、自立的な運営を促進します。					
内容					
京都府長岡京記念文化会館を運営する京都府長岡京記念文化事業団に対し、運営支援を行います。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
長岡京音楽祭実行委員会の事業への参加者数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
4,000人 (平成23年度)	目標	2,700人	2,750人	4,000人 ※25年度からの目標値	4,000人	4,000人
	実績	4,000人	4,227人	3,298人	4,904人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・京都府長岡京記念文化会館の年間使用率は、府下における公立文化会館の使用率と比較しても高い水準で推移しており、広く市民に利用されています。平成26年度の使用率は63.3%でした。 ・事業面では、長岡京音楽祭実行委員会事業として、6月にはオペラ、7月に長岡京市中学校吹奏楽合同演奏会、8月に長岡京夏のクラシックコンサート、10月の学生オーケストラの響演、11月国民文化祭記念コンサート、1月第九コンサート、2月長岡京室内アンサンブルのコンサート等を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> ・「長岡京音楽祭」は、国民文化祭実施の5年前に、国民文化祭のために立ち上げられました。 ・平成23年度国民文化祭を実施した後も文化振興のため、多くの記念公演を実施しています。平成26年度は公演数が増えたため、参加人数が増加しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の費用の見直しを図り、効率性を追求しつつ、地域の芸術文化の裾野広げ育てていく、という公立文化施設の基本理念を達成するための経費を、どう確保するかが課題です。 ・京都府をはじめ関係地方公共団体とも協議した上で、新たな自主財源を確保していくことを含め、事業団が安定した運営を保つよう支援します。 ・市民が芸術に触れる機会を得られるよう、「長岡京音楽祭」の事業をより市民に親しみやすい形で提供する必要があります。 						

政策5 文化の振興・文化財保護

施策2 文化財の保護・継承

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
文化財調査事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	生涯学習課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	15,986,697	
一般	10	4	5		
目的					
市内の貴重な文化財を保存・活用し、次世代に継承するとともに、市民の地域歴史に対する理解を深め、ふるさと意識を醸成するよう働きかけます。					
内容					
文化財の総合的かつ計画的な調査を進め、適切な保存を行います。					
古墳の発掘調査の様子					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
国・府の指定・登録及び市指定文化財の指定件数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
69件 (平成21年度)	目標	78件	80件	82件	85件	90件
	実績	79件	86件	86件	86件	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の指定に必要な対象物の調査と情報収集を行いました。 乙訓古墳群4件について、国指定史跡の登録に向けた発掘調査や検討会議を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 長岡京跡や恵解山古墳の出土遺物(鉄・木器)計41件の保存処理を委託により実施しました。 恵解山古墳保存整備工事に伴う文化財調査や長岡京跡他の発掘調査を3か所で委託により実施しました。 文化財の史跡指定のためには専門的調査を行い、所有者の同意を得て国の文化審議会での審議・議決を受けての指定となり、事務が複数年次にまたがります。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存・活用事業(文化財補助金交付)や歴史資料活用・保存事業との連携ある事業展開を図ることが必要です。新しい時代に求められる指定の方針を策定し、文化財保護の指導や協力要請を行います。 新しい指定方針の策定により、埋蔵文化財をはじめ有形・無形文化財の調査を実施し、保存の必要性をアピールしていきます。 						

政策5 文化の振興・文化財保護


施策2 文化財の保護・継承

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
史跡等整備・活用事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	生涯学習課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	61,115,711	
一般	10	4	5		
目的					
学習・憩いの場として保存活用できる史跡公園の整備を図ります。					
内容					
国史跡恵解山古墳基本計画に基づき、実施設計と工事を実施します。					
恵解山古墳公園 開園記念式典の様子 					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
基本計画に基づき、恵解山古墳の整備を進めます。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
発掘調査、基本設計の策定(平成22年度)	目標	実施設計、伐竹、整備工事	実施設計(建築設備)、伐竹、整備工事	整備工事、建築工事、展示・レプリカ設計	史跡公園の開設、維持管理	維持管理
	実績	実施設計図書作成 整備工事その1の実施	実施設計、現場技術業務 整備工事その2の実施	実施設計、現場技術業務 整備工事その3、その4を実施	整備工事その5～8を実施 開園記念式典を実施	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・恵解山古墳公園の展示・レプリカ・サイン・照明等を設置し史跡公園として開園しました。 ・広く恵解山古墳について周知を図るために、整備記念のシンポジウムや開園記念式典と見学会を開催しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> ・恵解山古墳公園の開園を受けて、シンポジウム及び開園記念式典を開催しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・恵解山古墳公園を市民に愛される史跡として活用する方法を住民や関連団体とともに検討していくことが課題となっています。 ・市民による利用促進検討委員会の立ち上げに向けて、説明会の開催などを行います。 						

政策5 文化の振興・文化財保護

施策2 文化財の保護・継承

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
埋蔵文化財調査センター充実事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	生涯学習課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	14,888,124	
一般	10	4	7		
目的					
遺跡から出土した文化財を保存するとともに、市民への普及啓発に活用します。					
内容					
遺跡から出土した文化財について、埋蔵文化財調査センターで整理及び研究し、その成果を広く展示公開します。					
夏休み歴史教室の様子					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
埋蔵文化財調査センターの総啓発事業参加者数（来館者含む）を維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
3,673人 (平成21年度)	目標	3,600人以上を維持	3,600人以上を維持	3,600人以上を維持	3,600人以上を維持	3,600人以上を維持
	実績	3,441人	3,425人	2,588人	5,855人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 常設展示に加え、平成26年10月の恵解山古墳公園の開園に合わせた講演会・展示・見学会を行ったため、参加者数が平成25年度比で126%増の5,855人となりました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 従来から実施してきた講座などの実施方法をもとに、恵解山古墳公園の開園に関する啓発イベント等を実施しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 施設老朽化や、保存、収蔵スペースの確保が課題になっています。啓発事業に従事する人材の確保・施設の修繕や効率的な空間利用を図ります。 地域や学校などと連携を図ることで、誰もが気軽に参加できる新たな啓発事業のあり方を検討します。 文化財資料の整理や研究を進め、普及啓発事業の多様化に取り組みます。 						

政策5 文化の振興・文化財保護

施策2 文化財の保護・継承

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
(仮称) 長岡京市ふるさと資料館検討事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	生涯学習課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	7,913	
一般	10	4	5		
目的					
市史編さん等で収集した資料を適切に保存するとともに活用します。					
内容					
(仮称) 長岡京市ふるさと資料館について、基本構想検討委員会とパブリックコメントの意見を踏まえて基本構想を策定し、基本計画策定に取り組みます。					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
基本構想と基本計画の策定を進めます。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
庁内検討会2回開催 基本構想(案)作成 (平成23年度)	目標	基本構想(案)の作成	基本構想検討委員会の発足 基本構想の検討	基本構想策定 ※25年度からの目標値	基本計画検討委員会発足	基本計画策定
	実績	庁内検討会2回開催 基本構想(案)作成	基本構想検討委員会の発足 基本構想の検討	基本構想策定	南部地域の連絡協議会への参加	
平成26年度の事業内容						
・ 京都府南部地域ミュージアム連絡協議会に2回出席し、府内の博物館運営及び文化財保護行政の動向について情報を交換しました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
・ 平成25年度に策定した基本構想を踏まえ、京都府南部地域ミュージアム連絡協議会などへの出席を通し、周辺の動向について情報収集を進めました。						
課題と今後の対応						
・ 基本構想に基づいた基本計画の策定においては、実現可能な計画を作成することが求められています。現状分析を的確に行い、計画策定と計画の推進について合意を高めていきます。						